「2011年版
世界のスマートグリッド2.0と日本企業の取り組み動向」を販売開始

報道関係者各位

平成２３年７月２５日
株式会社クロス・マーケティング
（東証マザーズ 3629）

「2011年版 世界のスマートグリッド2.0と日本企業の取り組み動向」を販売開始

～2011年、スマートグリッド2.0へと進化する世界の最新プロジェクトと各国標準化戦略の把握～

■■ 要約 ■■

マーケティングリサーチを行う株式会社クロス・マーケティング（代表取締役社長 五十嵐幹 東京都中央区）は、エレクトロニクス・ITと医薬・医療・バイオ分野を中心に様々な調査を行っている株式会社シード・プランニング（代表取締役 梅田佳夫 東京都台東区）が提供する「2011年版 世界のスマートグリッド2.0と日本企業の取り組み動向」を販売開始しました。

詳細URL：http://www.cross-shop.jp/products/detail.php?product_id=605

■■ 商品概要 ■■

◇2011年、スマートグリッド2.0へと進化する世界の最新プロジェクトと各国標準化戦略の把握
◇2.0の特徴を示す「発電vs.電力消費のインタラクティブ・フロー」、「蓄電システム」「バーチャル・パワープラント」関連プロジェクトの分析
◇最新ホームエネルギー・マネージメント製品、主要企業の技術・アライアンス動向の整理と把握

再生可能エネルギー資源の電力網統合や、先進メーターインフラの確立を軸としたデマンドレスポンスプログラム等の革新技術を模索しながら、世界のスマートグリッド市場は目を見張る勢いで進化を続けています。本レポートでは、世界市場に建設的インパクトを与えるスマートグリッド2.0の潮流の中で、先進技術を取り入れ市場をリードする米国や、圧倒的な投資でスマートグリッドという情報エネルギーインフラ構築を推進する中国を始めとして、世界22カ国の関連最新情報を収集し整理しました。特に、スマートグリッド2.0のテーマとも言われる再生可能エネルギー電力網統合の安定制御や、そのキーシステム

である蓄電関連事業、欧米で先行するスマートメーター実証におけるユーザー動向を含むプロジェクトの課題や成功要素、標準化動向、関連法整備、デバイス／システム企業の動向等など、種々の視点から最新の情報にアプローチし、世界動向の把握と分析とを行ないました。

■■ 調査項目 ■■

◆ 海外

・世界22カ国の電力政策とスマートグリッド2.0プロジェクト事例研究
米国、アイルランド、イギリス、イタリア、ドイツ、スペイン、フィンランド
フランス、ロシア、インド、オーストラリア、韓国、中国、ブラジル、インド
ネシア、シンガポール、タイ、台湾、ニュージーランド、フィリピン、
ベトナム、マレーシア
・各国のスマートグリッド政策の特徴と関連法整備
・先進検針事業（スマートメーター）への投資規模と今後の予測
・蓄電（エネルギー貯蔵）関連プロジェクトの最新動向
・主導機関による標準化動向
・関連企業の技術、製品、アライアンス動向
・エネルギーマネージメントと見える化の最新動向
・先行スマートグリッド事業の課題と展望
・マートメーター実証とダイナミック課金プログラムに対するユーザーの反応
・主要プロジェクトの通信方式、スマートグリッド・システムアーキテクチャー
・バーチャルパワープラントと電力の国際市場融合運用
・アプリケーション展望（エネルギー・マネージメント、スマート家電）

◆ 国内

・蓄電池関連スマートグリッドの取組み事例
・大型蓄電システムメーカー、定置用蓄電池メーカーの実績
・関連技術開発、企業連携動向
・行政動向（次世代エネルギー社会システム、日本版スマートメーター、蓄電池技術）
・再生可能エネルギー系統安定対策、蓄電複合システムに関する実証実験動向

■■ 目次 ■■

調査概要

I.　総括編

1.世界主要地域のスマートグリッド市場

2.2011年、欧州のスマートグリッド標準化作業状況

3.ITU-Tの活動

4.Zigbee アライアンス

5.ISGAN（The International Smart Grid Action Network）の活動

6.世界のスマートグリッド標準化団体一覧

7.世界のホームエネルギーマネージメント機器（HEMS）の新製品

8.蓄電、エネルギー貯蔵関連プロジェクトのトレンド

9.世界のスマートグリッド事業規模とプロジェクト進行状況

・政府予算規模　・スマートメーター設置完了時期予測‥等

II.　米国市場編

1.米国エネルギー省のスマートグリッド政策と将来予測

(1) アメリカ再生・再投資法によるスマートグリッド投資金額
(2) 各州への支援策と標準化の強化

2.米国のデマンドレスポンス市場

3.ダイナミック課金によるデマンドマネージメントの効果

4.米国の配電管理（DGM Distribution Grid Management）

5.スマートグリッド企業の連携状況

6.スマートグリッド事例研究

6-1.　カリフォルニア州の「再生可能エネルギー、コージェネ、
蓄電推進プロジェクト」

6-2.　バーチャル・パワープラント・シミュレーターによる
コミュニティ蓄電システム

6-3.　配電網内マイクロ発電のインターオペラビィティに関する
プロジェクト

6-4.　発電資源の最適化とEV統合プロジェクト

6-5.　パワーバレー（旧海軍造船所）スマートシティ・プロジェクト

6-6.　ダイナミック課金に対するユーザー行動実証プロジェクト

7.欧米のスマートグリッド・ユーザー意識調査

III.　欧州市場編

1.2011年、欧州各国のスマートグリッド政策と主要プロジェクト

2.欧州のバーチャル・パワープラント・プロジェクト－fenix

3.スマートグリッド事例研究

3-1.　アイルランド－風力発電ファームの配電網リンク・プロジェクト

3-2.　イギリスのエネルギーデマンド・ユーザー実証事業

3-3.　フィンランドのスマートグリッドと電力市場

3-4.　フランスのスマートメーター・プロジェクト「Linky」

3-5.　フランスのスマートグリッド・プラットフォーム・プロジェクト「MENOFIS」

3-6.　パリ市のEVリチャージ・インフラ・プロジェクト「SAVE」

3-7.　ロシアのエネルギー政策とスマートグリッド・プロジェクト

IV.　アジア、新興国市場編

1.中国のスマートグリッド市場

2.インドのスマートグリッド市場

3.ブラジルのスマートグリッド市場

4.オーストラリアのスマートグリッド市場

5.韓国のスマートグリッド市場

6.東南アジア諸国のスマートグリッド市場

V.　日本のスマートグリッド

日本版スマートグリッド2.0

1.行政動向

(1) 国家戦略－「環境未来都市」構想
(2) 「環境未来都市整備促進法（仮称）」に向けた新法案の検討
(3) 「次世代エネルギー・社会システム実証事業」
(4) スマートメーター制度検討会

2.蓄電池システム産業の最新動向

(1) 行政動向

(2) 系統用、需要家定置用、次世代自動車用蓄電池の現状と課題

3.蓄電池を主要素とするスマートグリッドの取組み事例と蓄電池メーカーの実績

(1) 大型蓄電池システム

3-1-1.　三洋電機
3-1-2.　東芝
3-1-3.　日本ガイシ

(2) 定置用蓄電池

3-2-1.　エコマックス・ジャパン
3-2-2.　エジソンパワー
3-2-3.　正興電機製作所
3-2-4.　新神戸電機
3-2-5.　住友林業
3-2-6.　大和ハウス工業
3-2-7.　GSユアサ

(3) 実証実験

3-3-1.　沖縄電力
3-3-2.　東京電力
3-3-3.　東北電力
3-3-4.　日本電気

(4) 研究開発、事業提携等

3-4-1.　IHI
3-4-2.　FDK／旭化成
3-4-3.　川崎重工業
3-4-4.　次世代LIC（リチウムイオンキャパシタ）総合技術研究組合
3-4-5.　信州大学
3-4-6.　東芝
3-4-7.　日立製作所
3-4-8.　三菱重工

付.　参考文献

■■ 商品詳細 ■■

商 品 名：2011年版 世界のスマートグリッド2.0と日本企業の取り組み動向
発 刊 日：2011年6月24日
発 行：株式会社シード・プランニング
販 売：株式会社クロス・マーケティング
判 型：A4 / 208ページ

頒 価：
■製本版 189,000円（本体価格180,000円、消費税9,000円）
※別途送料500円

詳細URL：http://www.cross-shop.jp/products/detail.php?product_id=605

■■ 本件に関するお問い合わせ先 ■■

株式会社クロス・マーケティング
Cross Shop 販売窓口担当
Tel： 03-3549-1319
Fax： 03-5565-5458
Mail： cs-info@cross-m.co.jp
Facebook：http://www.facebook.com/pages/Cross-Shop/164004066984033
twitter：http://twitter.com/cross_CS

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com